

見えない壁

私たち真宗門徒は「御同朋」ということはおんどうほうを大切にしてきました。それは人間を「生まれ」や「差異」によって差別するのではなく、あらゆる人々と水平な関係に生きることを阿弥陀如来から願われているからです。しかし、男性か女性かという性別に特別な意味や価値付けをして、主従関係に閉じ込めたり、排除してきた歴史があります。例えば、1991年までは女性は住職にはなれず、得度年齢も男子は9歳から、女子は20歳からとなっていました。

現在は古い制度や機構が改革され、表面的には差別はなくなったかのように見えますが、私たちの中には「女だから」「男のくせに」という意識がいまだに残っています。読経や法話をするのは男性の仕事、女性は人前に出るより、後ろで支える方がいいという性別による役割分担をあたりまえとしているのでしょうか。この「あたりまえ」と思う気持ちが男性と女性の間に「見えない壁」を作っています。この壁の存在に気づかなかったり、気づきながらもお互いに壁の内側にいる方が楽なので、そこに座り込んでしまいます。そして超えようとする人には壁はまだ高いままです。

「御同朋」ということばから、私たちは「性別にとらわれることなく、新しい関係を生きよ」と呼びかけられています。

自己はみえない



お問い合わせ

真宗大谷派(東本願寺)解放運動推進本部 女性室

〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上ル
TEL 075-371-9247 / FAX 075-371-9224

ひとひと 女と男の「あいあう」リーフレット

男女両性で
形づくる教団を
めざして



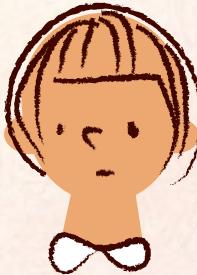
真宗大谷派
東本願寺
shinshū Otani-ha

ひとひとこうぎこうろん 女と男の公議公論

① 総代って女性でもなれるの?



③ でも、女性がなるとでしゃばってるみたい。



⑤ 夫はなんて言うかしら…聞いてみないと…。



② 総代だけでなく、責任役員、組門徒会員になれますよ。



④ そんなことないですよ。私も最初はためらいましたが、思いきって、引き受けました。



⑥ 仏教は男も女もみんな平等でしょう!

ひとひとのいろいろなこと 話し合いましょう

男の色と、女の色があるよね。

家の分担どうしてる?

町内会長にPTA会長男の人でなくともいいよね。

「男」「女」だけで分けられないこともあるよね。

育児や介護は女の人が向いている?

力仕事や危険な仕事男の人気が向いている?

総代って男性がなるんじゃないの?

「総代」というと、つい年長の男性をイメージしがちですが、お寺の役員に男女の区別はありません。お寺のことに限らず、私たちは性別による役割に固定されていませんか?

「あたりまえ」ですませてきたことを、いろいろな立場の人と、もう一度話し合ってみませんか?